

STIEBEL ELTRON

顕熱交換換気システム

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型名…… ●LWZ-70E



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP.1「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 特長	3
3. 各部のなまえ	4
3-1. 機器各部のなまえ	4
3-2. 操作部のなまえ	4
4. ご使用方法	5
4-1. 表示部パネルの見かた	5
4-2. 機器の動かしかた	6
4-3. 機器電源のON/OFF	7
4-4. 設定風量の変更のしかた	8
4-5. 風量切替スイッチ (オプション品)の使いかた	10
5. 日常の点検とお手入れ	11
5-1. フィルター清掃	11
5-2. フィルターの交換	14
5-3. 交換用フィルターの 購入について	15
5-4. 清掃と定期点検	15
6. 故障かな?と思ったら	16
7. 点検および修理について	17
8. 仕様	18


取付説明書

1. 安全上のご注意	20
2. 各部のなまえと外形寸法	23
3. 部品の確認	24
4. 仕様	24
5. 取付け方法	25
5-1. 事前作業	25
5-2. 取付け手順	26
6. ダクトの接続	28
7. ドレン配管	29
8. 結線	30
9. 風量切替スイッチ (オプション品)の取付け	31
9-1. 事前準備	31
9-2. 風量切替スイッチ取付け	31
10. サービスマンモード	33
11. 試運転	34
11-1. 機器の試運転	34
11-2. 引き渡し前検査記録表	36
保証書	37




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。







 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。


 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。

警告




禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  可燃性のガスが漏れた場合は、機器のスイッチを操作しないでください。
-  機器の近くや、お部屋の給排気口近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管しないでください。
-  機器と壁の間や、機器の離隔距離の範囲内に物品を挟んだり、置いたりしないでください。
(離隔距離は、壁紙や棚等の品質を保証する距離ではありません。)

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≥500mm	≥200mm	≥50mm	≥50mm	≥500mm

-  機器は、お手入れ中以外は、停止しないでください。

指示

-  機器に異常が発生した場合は、機器の電源をOFFにし、ブレーカを「切」(OFF)にして日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
-  アース工事、漏電遮断器設置工事が適正に行なわれていることを確かめてください。
-  機器の設置、移設は、必ず専門業者に依頼して行なってください。



背面固定金具が正しく取り付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。



補強を行なっても震災、その他の天変地異で転倒する可能性があります。万が一壁から外れた場合は、下記の①～③を実施の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

- ①機器の電源ブレーカを「切」(OFF)にしてください。
- ②落下物がある場合は取り除いてください。
- ③建物が揺れている間は、機器に近づかないでください。



子供や身体に障害がある人が機器を操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。



注意



禁止



機器の天板に物を置いたり、機器に荷重を掛けたりしないでください。



ファンが故障し動いていない場合は、そのまま使用しないでください。



ドレン配管が詰まる、または接続されていない状態では使用しないでください。



注意



フィルターの点検清掃をする場合は、怪我をしないように気を付けてください。



機器運転中は、フィルターカバーを必ず締めてください。



夏場にエアコンの設定を下げ過ぎると、機器からの水漏れが発生する可能性があります。



指示



機器の設置場所周辺には、変形や変色しないものをご使用ください。



フィルターが詰まると、故障の原因となりますので定期的に掃除してください。



フィルターの点検清掃をする場合は、必ず電源を「OFF」、ブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。



フィルターを機器に戻す際は、フィルターの向きを間違えないようにしてください。



ドレン配管が詰まると、漏水の原因となりますので定期的に掃除してください。



ドレン配管を点検清掃する場合は、必ず電源を「OFF」、ブレーカを「切」(OFF)にしてから掃除を行なってください。



設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。



風量を切り替える場合は、10秒以上間隔を開けてから切り替え操作をしてください。



機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ保管できるようにしてください。



本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。

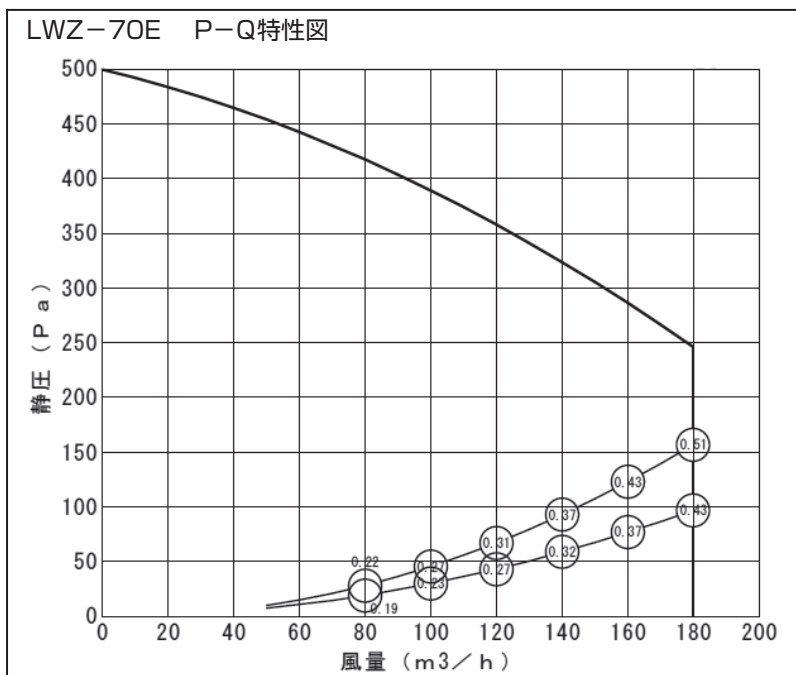


機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。

2. 特長

機器は、給気と排気の2つの送風機（ECモーター）を利用して、屋外の新鮮な空気を屋内に取り入れ、屋内の汚れた空気を排出します。その際、排出する空気から高効率に熱回収を行ない、屋外から取り入れる新鮮な空気に回収した熱を効率よく加えます。

- 戸建住宅、アパート等で、給気と排気を制御し、空気の循環を一定に保ちます。
- 屋外に排出する空気から熱回収を行なうため、暖冷房負荷を軽減することができます。
- フィルターでろ過した新鮮な空気をお部屋に供給します。
- 生活空間から発生した汚れた空気を継続的に排出します。
- 給気と排気の温度を常に計測し、機器内部が凍結しないように独自のプログラムで運転を行ないます。
- 設定風量を5m³/h単位で変更できるため、住宅に合わせたきめ細かく、無駄のない設定が可能です。



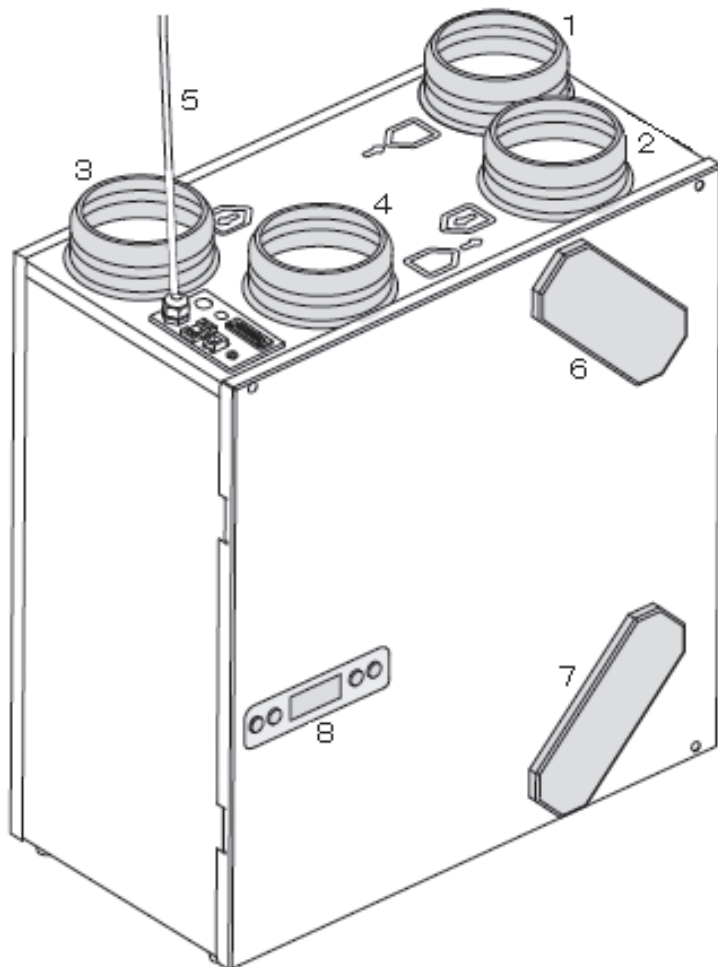
○内の数字は、比消費電力（W/(m³/h)）を示します。

機器は、操作部、またはオプション品の風量切替スイッチにより換気風量を調節することができます。風量を設定すると、設定した風量を維持するためにファンの回転数を自動的に変更します。この機能により、最初に設定した換気風量を一定に保ちます。（環境条件の変化による換気量不足、または過剰が生じることはありません。）

- 高効率の熱交換機器のためデフロストモードにより、内部着霜しないようOA風量を自動調節します。
動作条件：OA温度2℃以下（外気を機器に送る配管経路の温度）
給排気の差圧による制御と、OA温度の関係から自動的にOA風量を調節します。

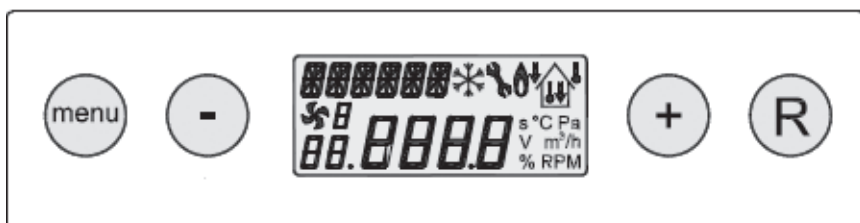
3. 各部のなまえ

3-1. 機器各部のなまえ



- 1 : 屋外からの給気ダクト接続口
- 2 : 屋内からの還気ダクト接続口
- 3 : 屋内への給気ダクト接続口
- 4 : 屋外への排気ダクト接続口
- 5 : 電源ケーブル
- 6 : 還気側フィルターカバー
- 7 : 給気側フィルターカバー
- 8 : 操作部

3-2. 操作部のなまえ



- 1 : 「menu」ボタン
- 2 : 「-」ボタン
- 3 : 表示部パネル
- 4 : 「+」ボタン
- 5 : 「R」ボタン

「menu」ボタン : 表示を確定させる際に押します。

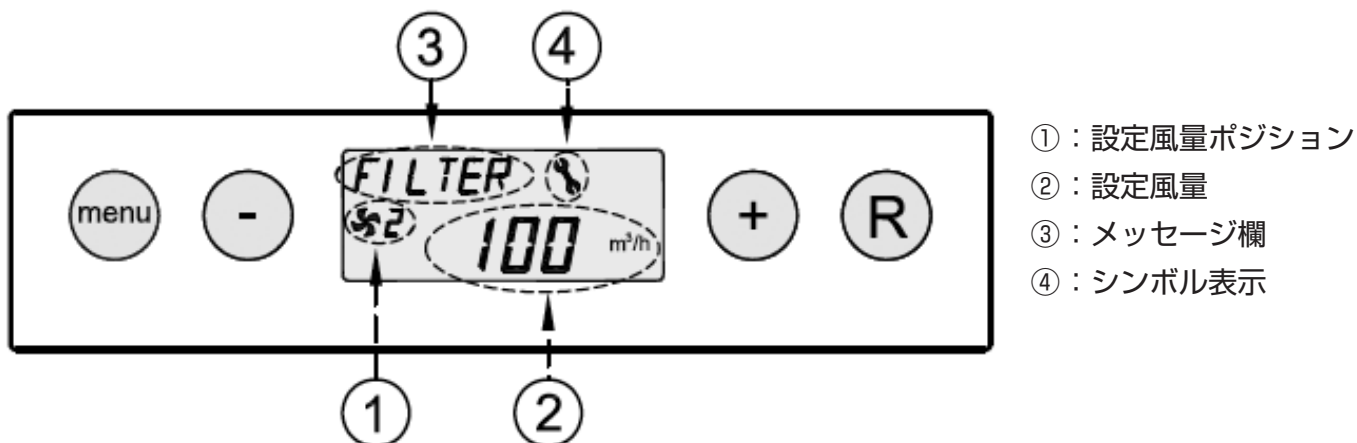
「-」ボタン : 表示を切り替える際に押します。
設定変更中は、表示している数値を小さくします。
5秒間長押しすることで、電源をON/OFFできます。

「+」ボタン : 表示を切り替える際に押します。
設定変更中は、表示している数値を大きくします。

「R」ボタン : 前の表示に戻る際に押します。

4. ご使用方法

4-1. 表示部パネルの見かた



(1) 設定風量ポジション

シンボル	名称	動作状態
1	設定風量1	風量切替スイッチがない場合。 風量切替スイッチを「1」、または「弱」で運転しています。
2	設定風量2	風量切替スイッチを「2」、または、「標準運転」で運転しています。
3	設定風量3	風量切替スイッチを「3」、または、「強」で運転しています。

(2) メッセージ欄

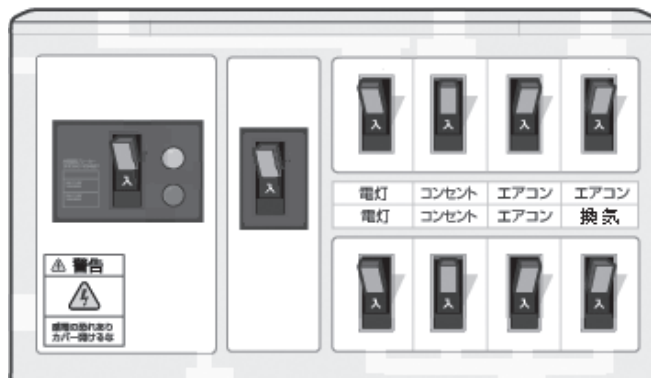
シンボル	名称	動作状態
FILTER	フィルター	フィルターの清掃、または交換を促しています。
SET	設定モード	設定風量の変更を行ないます。
READ	運転状況確認	機器の運転状況を確認できます。
SERV	エラー履歴	エラーの履歴を確認できます。

(3) シンボル表示

シンボル	名称	動作状態
	デフロスト運転	給気風量を減らして、機器内部の除霜運転をしています。 一定時間経過後、通常運転に戻ります。
	スパナマーク	修理を必要としています。

4-2. 機器の動かしかた

①専用ブレーカを「入」(ON)にします。



ブレーカ参考図



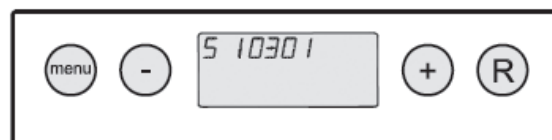
ブレーカ「入」(ON)

②表示部パネルの全表示が2秒間点灯します。



2秒間

③機器のソフトウェアのバージョン情報を2秒間表示します。



2秒間

④基本表示、またはOFF表示となります。
基本表示の場合は、設定風量に従い運転を開始します。
OFF表示の場合は4-3項に従い機器の電源をONにしてください。



基本表示 (設定風量 1 75m³/h で運転時の表示)

MEMO

●機器が正常に動かない場合は、一度ブレーカを「切」(OFF)にして、再度ブレーカを「入」(ON)にします。



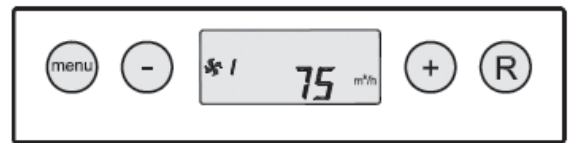
4-3. 機器電源のON/OFF

(1) 電源を「ON」にします。

- ①設定風量の表示部パネルにOFFと表示されている状態で、「-」ボタンを5秒間押し続けます。



- ②基本表示の状態で、設定風量に従い換気運転を開始します。



(2) 電源を「OFF」にします。

- ①基本表示の状態で、「-」ボタンを5秒間押し続けます。



- ②表示部パネルにOFFと表示されて換気運転を終了します。

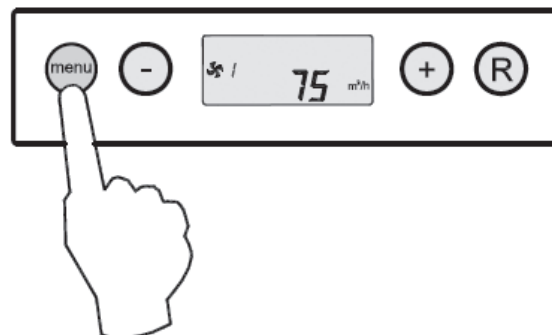


4-4. 設定風量の変更のしかた

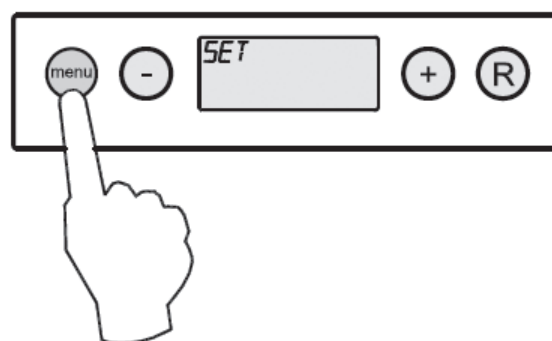
MEMO

- 設定風量1は、設定風量2より風量を大きくすることはできません。
- 設定風量2は、設定風量3より風量を大きくすることはできません。

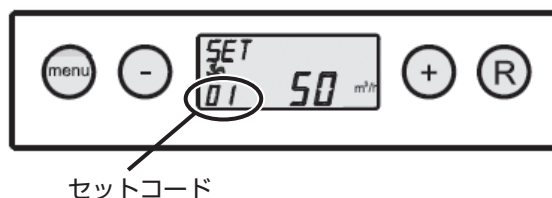
①換気運転中に「menu」ボタンを1回押します。



②表示部パネルのメッセージ欄に「SET」と表示されるので、再度「menu」ボタンを1回押します。

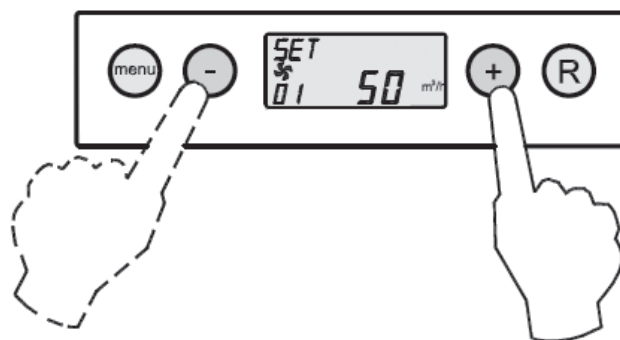


③表示部パネル左端にセットコードが表示されます。



④「+」、「-」ボタンで変更したい設定風量のセットコードに合わせます。

- i) 弱運転の場合 : セットコード2を選択します。
- ii) 標準運転の場合 : セットコード3を選択します。
- iii) 強運転の場合 : セットコード4を選択します。

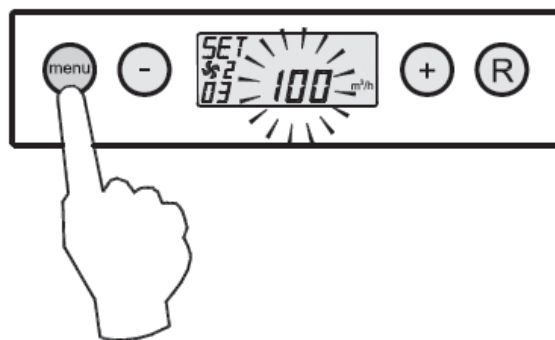


設定風量に関するセットコード

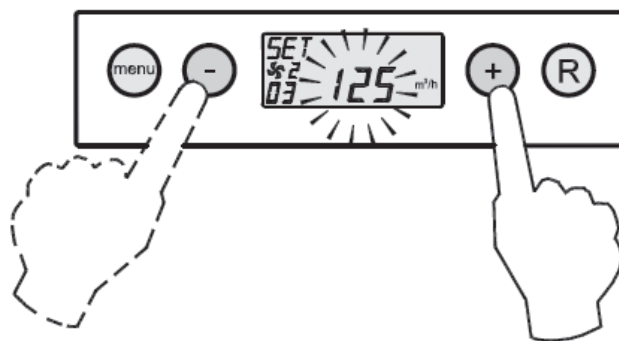
セットコード	セットコードの内容	初期設定	設定範囲
02	設定風量1 (弱運転)	75m ³ / h	50 ~ 180m ³ / h
03	設定風量2 (標準運転)	100m ³ / h	50 ~ 180m ³ / h
04	設定風量3 (強運転)	150m ³ / h	50 ~ 180m ³ / h

※セットコードの一覧は、取付説明書 P. 33「10. サービスマンモード」をご参照ください。

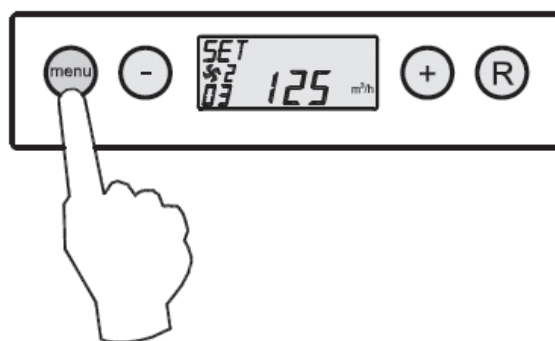
⑤セットコードを合わせた後、「menu」ボタンを押すと、設定風量が点滅します。



⑥「+」、「-」ボタンを押して、設定風量をお好みの値に5m³/h単位で変更します。

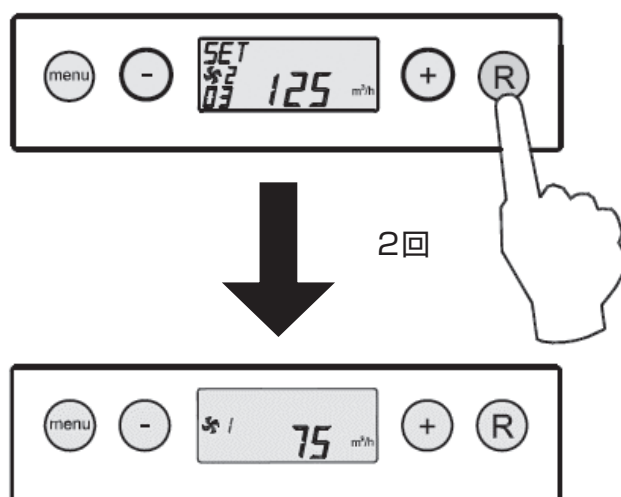


⑦「menu」ボタンを押して、変更を確定させます。



⑧「R」ボタンを1回押すと、表示部パネルのメッセージ欄に「SET」と表示します。

⑨再度「R」ボタンを1回押すと、基本表示に戻ります。

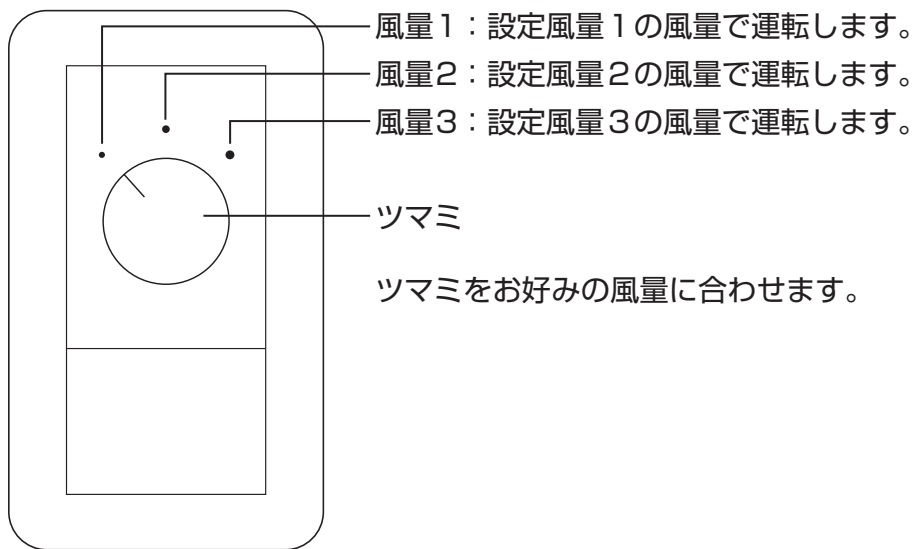


基本表示 (設定風量1 75m³/hで運転時の表示)

✓ ご注意

●セットコードは、設定変更により、現在変更しているセットコード以外の設定も連動して変更になる場合がありますので、上記以外の設定変更を行なった場合は、他の設定も変更になっていないかご確認ください。

4-5. 風量切替スイッチ（オプション品）の使いかた



✓ご注意

- 風量を切り替える場合は、10秒以上間隔を開けて操作してください。連続して風量切り替え操作した場合は、機器を保護するために風量切り替えにロックが掛かる場合があります。
- ロックが掛かった場合は、風量切替スイッチをロックの掛かっている設定に戻し、10秒以上間隔を開けてから風量を切り替えてください。

5. 日常の点検とお手入れ

通常は乾いた布でふいてください。

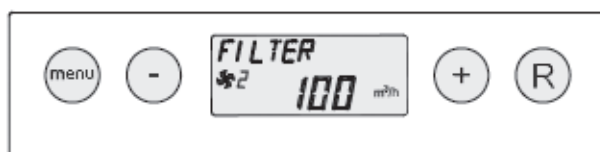
汚れがひどい場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

おねがい

- ベンジン、シンナー、及びクレンザー、ナイロン製のたわし等の使用は、機器を傷めますので絶対にやめてください。
- フィルターは水洗いしないでください。

5-1. フィルター清掃

- ①表示部パネルのメッセージ欄に「FILTER」と表示されたら、フィルターの清掃、または交換を行なってください。



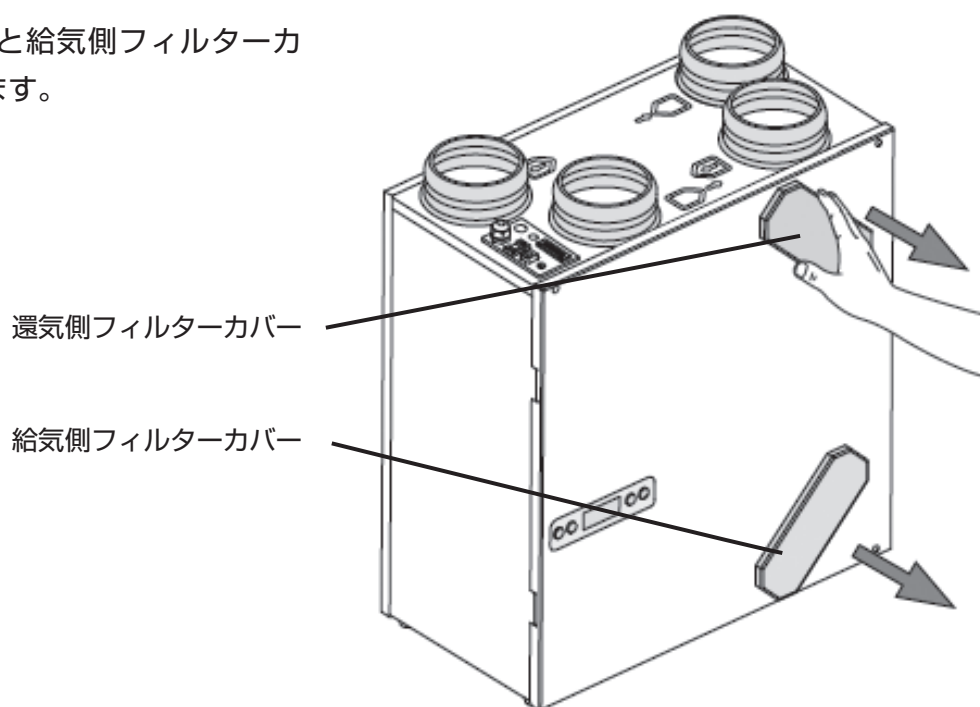
MEMO

- フィルターは目安として1年に1度交換することをお勧めいたします。

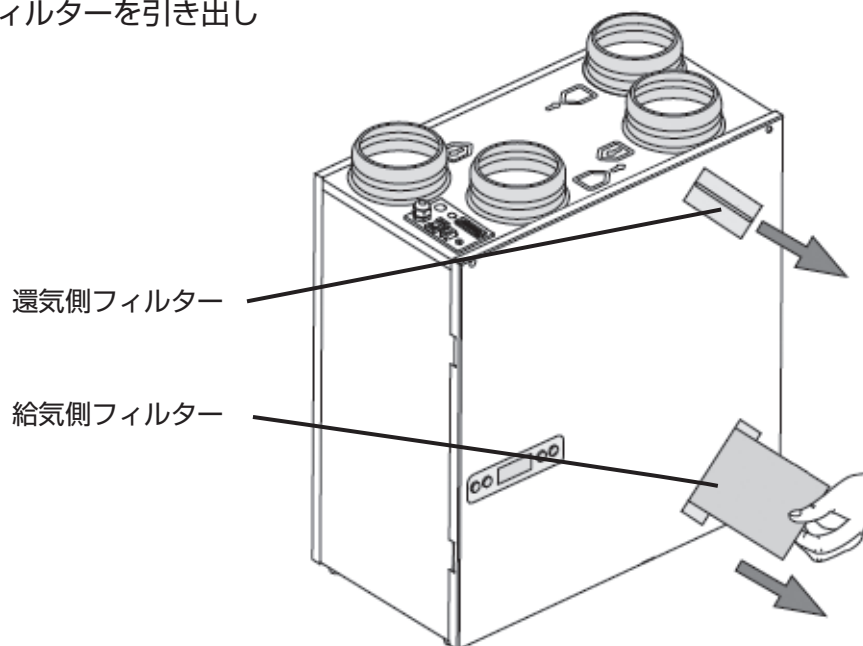
- ②操作部の「-」ボタンを5秒間押して、機器の電源を「OFF」、ブレーカを「切」(OFF)にします。(P.7 4-3参照)



- ③還気側フィルターカバーと給気側フィルターカバーを手前に引いて外します。



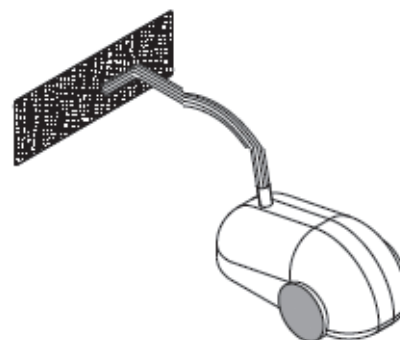
- ④ 還気側フィルターと給気側フィルターを引き出します。



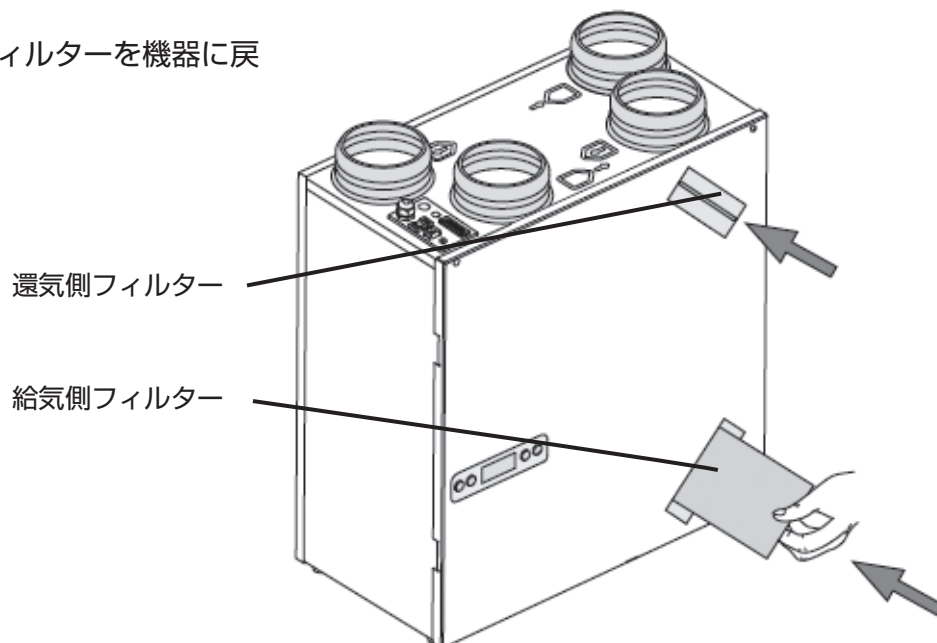
- ⑤ ④で取り出した還気側フィルターと給気側フィルターを掃除機で清掃します。

MEMO

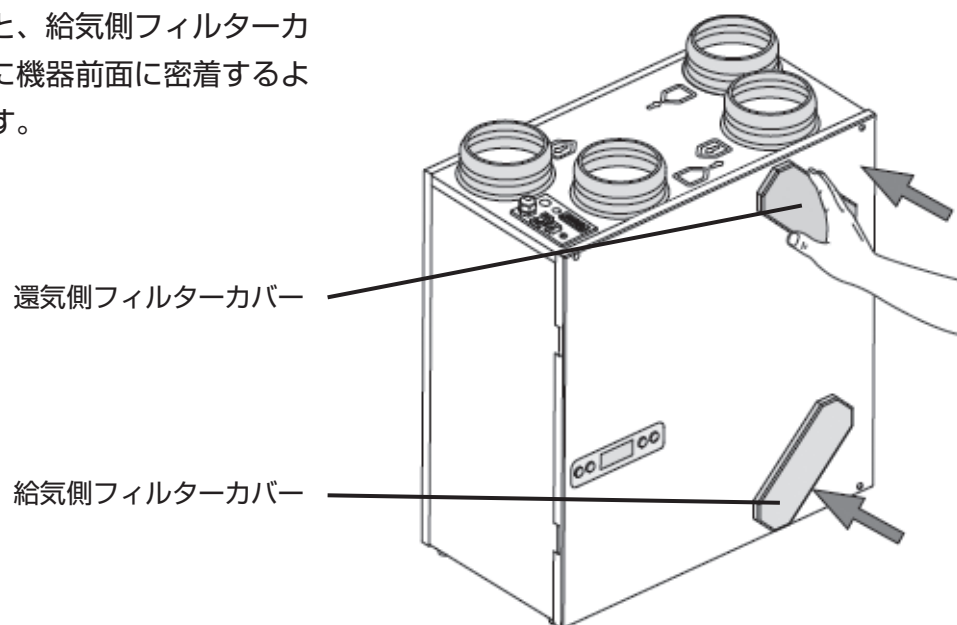
- 掃除機で効果のない場合は、P.14 5-2に従いフィルターを交換します。



- ⑥ 還気側フィルターと給気側フィルターを機器に戻します。

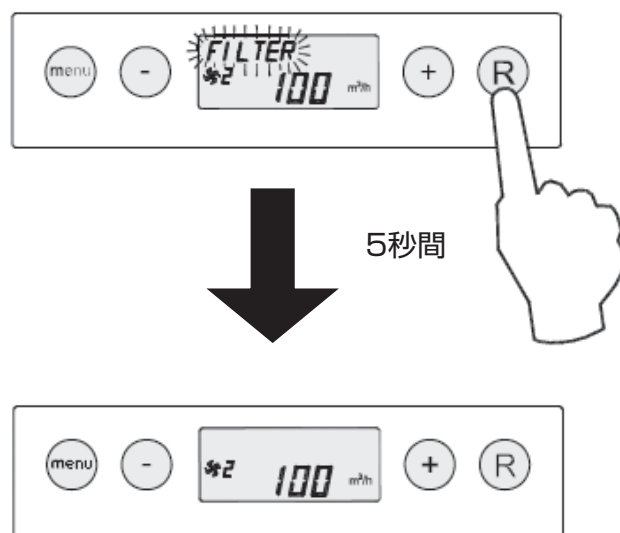


- ⑦ 還気側フィルターカバーと、給気側フィルターカバーをフィルター差込口に機器前面に密着するように押し込んで固定します。



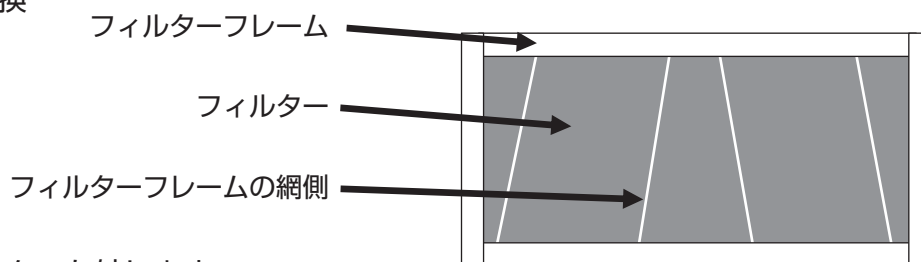
- ⑧ ブレーカを「入」(ON)にして、操作部の「-」ボタンを5秒間押して、機器の電源を「ON」にします。(P.7 4-3参照)

- ⑨ 操作部の「R」ボタンを5秒間押して、表示部パネルのメッセージ欄上の「F I L T E R」表示を消します。



5-2. フィルターの交換

1) 標準仕様のフィルターへの交換

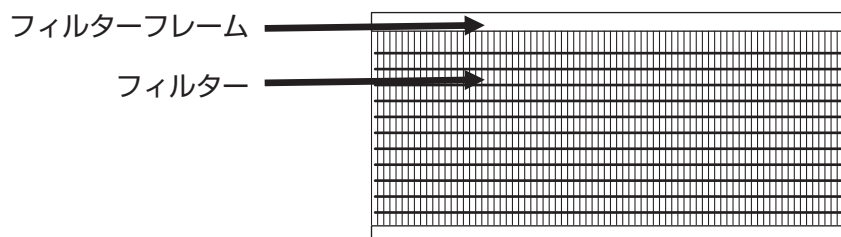


- ① フィルターフレームからフィルターを外します。
- ② フィルターの硬い面側をフィルターフレームの網側に向け、フィルターフレームにはめ込みます。

おねがい

- フィルターには硬い面（繊維の密度が高い）側と柔らかい面（繊維の密度が低い）側があります。必ず硬い面側を、フィルターフレームの網側に向けてください。
 - フィルター単体の状態で機器に戻さないでください。
- ③ フィルターフレームの網側を機器の内側に向けて戻します。
 - ④ 高性能フィルターをご使用だった場合は、②の作業を行なった後に機器に戻します。

2) 高性能フィルターへの交換

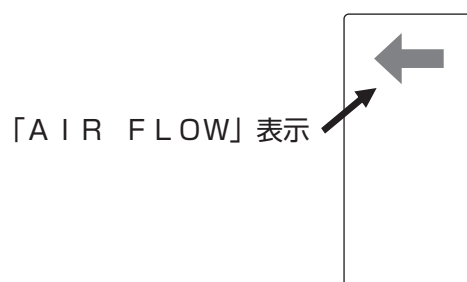


- ① 高性能フィルターは、側面の「A i r F L O W」と記載してある矢印の先端を、機器の内側に向けて戻します。

MEMO

- 高性能フィルターは、下段の給気側のみのご使用でも構いません。

- ② 標準フィルターをご使用だった場合は、標準フィルターのフレームを機器に戻す必要はありません。高性能フィルター単体を機器に戻します。



ご注意

- 高性能フィルターを使用する際は、標準フィルターのフレームは使用しませんが、標準フィルターを再度使用する際は必要となりますので廃棄せずに保管してください。

5-3. 交換用フィルターの購入について

①機器本体の交換用フィルターは、右図のQRコードからのサイト、または下記のアドレスのサイトから購入することができます。

[<https://nihonstiebel-ec.shop-pro.jp/>]



標準仕様フィルター

LWZ-70E用



高性能フィルターL

WZ-70E用



おねがい

●該当する機器のフィルターを購入してください。

②「標準仕様フィルター（10枚1組）」を購入したい場合は、「標準仕様フィルターLWZ-70E用」を選択します。

③「高性能フィルター（2枚1組）」を購入したい場合は、「高性能フィルターLWZ-70E用」を選択します。

5-4. 清掃と定期点検

①定期的に給排気グリル、屋外の給排気フードの清掃を行なうことをお勧めします。清掃がされていないと下記の問題が発生する場合があります。

i) 住宅内で十分な換気がされない。

ii) 機器の消費電力が大きくなる。

iii) 住宅内での結露の発生。

②3年を目処に専門業者による定期清掃を行なうことをお勧めいたします。

③お買い上げより10年を目処に必ず専門業者による機器の点検を実施してください。

6. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置方法	参照ページ
表示部パネルが表示しない。	機器のブレーカが「入」(ON)になっていますか。	機器のブレーカを「入」(ON)にしてください。	P. 6 4-2
表示部パネルの表示が欠けている、または取説に記載がない表示がでている。	—	一度、機器のブレーカを「切」にした後、再度「入」(ON)にしてください。	P. 6 4-2
操作部のボタンが効かない。	—	一度、機器のブレーカを「切」にした後、再度「入」(ON)にしてください。	P. 6 4-2
設定風量表示が切り替わらない。	短い間隔で風量を切り替えていませんか。	風量切替スイッチを表示している設定に戻し、10秒以上間隔を開けてから風量を切り替えてください。	P. 10 4-5
表示部パネルにスパナマークが点灯している。	表示部パネル上のエラーコードを確認。	エラーコード「E***」を確認して日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 17 7
機器の音が大きくなる。	設定風量を大きくしませんでしたか。	設定風量を小さくしても良いならば小さくしてください。	P. 8 4-4
	屋外の給排気フードが詰まっていますか。	屋外の給排気フードを清掃してください。	P. 15 5-4
	屋内の給排気グリルが詰まっていますか。	室内の給排気グリルを清掃してください。	P. 15 5-4
機器から水が垂れてくる。	機器下部のドレン管が詰まっていますか。	ドレン管を清掃してください。清掃できない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 15 5-4 P. 17 7
給気がされていない。	屋外の給気フード、または屋内の給気グリルが詰まっていますか。	屋外の給気フード、屋内の給気グリルを清掃してください。	P. 15 5-4
排気がされていない。	屋外の排気フード、または屋内の還気グリルが詰まっていますか。	屋外の排気フード、屋内の還気グリルを清掃してください。	P. 15 5-4
誤って指定以外のセットコードを操作してしまった。	—	日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 17 7

上記で、改善しない場合は、再度ブレーカを「入/切」(ON / OFF) し状態が改善しないことを確認の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

こんな場合は異常ではありません。

現象	確認項目
「FILTER」と表示している。	フィルターの清掃、または交換を促しています。フィルターの清掃、または交換後に「R」ボタンを5秒間押してください。
機器から機械の動作音がしている。	機器内蔵ファンの動作音です。機器からファンの動作音以外が発生している場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
ドレン管に水滴がついている。	ドレン管の表面で結露が発生しているためです。気になるようでしたら建築会社にご相談ください。

7. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、P.16「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理なさらないで下記のQRコードから日本スティーベル(株)のHPのお問合せフォーム、または下記からお問い合わせください。



TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次のことをご知らせください。

- ① 型名 : 保証書または、機器上面パネルの銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 保証書または、機器上面パネルの銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の内容 : 給気がされていない等の症状、及び使用条件
- ④ お取付け年月日 :
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、フィルター等の消耗品を除き、保証書の記載に内容に基づき無料修理を行いません。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。



おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、及びダクトの配管工事、ドレン排水管工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

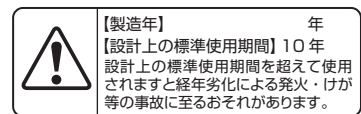
型名		LWZ-70E
定格電圧		200V単相 50/60Hz
寸法	幅 (mm)	560
	高さ (mm)	600
	奥行 (mm)	290
最大風量 (m ³ /h)		180
消費電力範囲 (W)		13-96
最大電流値 (A)		0.5
騒音 (dB)	75m ³ /h時	32
	150m ³ /h時	48
質量 (kg)		25
ダクト接続口径 (mm)		φ125
ドレン管接続口径 (mm)		φ12
有効換気量 (%)		95
熱交換効率 (%)		90
周囲温度	最低温度 (°C)	15
	最高温度 (°C)	35
使用温度	外気温度 (°C)	-15~40
	室内温度 (°C)	15~35 (24°C以上 *1)
フィルター		外気側G3/還気側G3
オプション品		風量切替スイッチDJ型

*1：夏期の冷房時の設定室温

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

<本体への表示内容>

経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右記の内容を本体に表示しています。



<設計上の標準使用期間とは>

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(下表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

本機器の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし J I S C9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。

○「経年劣化」とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準使用条件 J I S C9921-2 による

環境条件	電圧	単相200V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	20°C	J I S C9603から引用
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気8760時間/年	

STIEBEL ELTRON

顕熱交換換気システム

取付説明書

(保証書付)

型 名…… ●LWZ-70E

取付工事店様へ



- この機器は、電気工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに本書のP. 20「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。



警告



禁止



絶対に改造はしないでください。



取り外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。



200Vの電源ケーブルに100Vの屋内配線を接続しないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



機器は、屋外や湿気の多い場所、水がかかる場所、浴室等には設置しないでください。



機器の近くに、ガス類等の可燃性物質や爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



床上に設置するのは、絶対におやめください。



外気の取り入れ口は、燃焼ガスや住宅の排気を吸い込む位置や、積雪等で埋もれる位置には設けないでください。



注意



電源ケーブル等の配線は最小の長さにして、本体に引き込む、周囲に遊びをとるなどしないでください。



メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの壁材に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板等が電氣的に接触しないよう取り付けてください。

！ 指示

！ 機器は下表の離隔距離を守って設置してください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≥500mm	≥200mm	≥50mm	≥50mm	≥500mm

！ 背面固定金具が正しく取付けられ、機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。

！ 電源ケーブルは、屋内配線と直結してください。

！ 電源仕様、定格電流、及び消費電力を天板パネルの銘板ラベルで確認し、必ず内線規程に従って正しい配線を行なってください。

！ 専用の電源ブレーカを1台設置してください。

⏚ アースは第三種接地工事(D種接地)を行なってください。

！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡しをせず、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

⚠ 注意

⊘ 禁止

⊘ 機器の電気部品(交換用電気部品)を他の電気機器に接続しないでください。

⊘ 設置前の機器は、雨水が当たる場所に置かないでください。

⊘ 機器の天板に物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

⊘ ドレン配管は、二重トラップにしないでください。

⊘ 次の様なダクト工事はしないでください。(風量の低下や異常音発生、結露などの原因になります。)

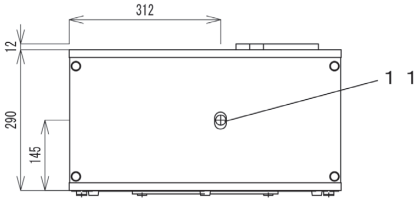
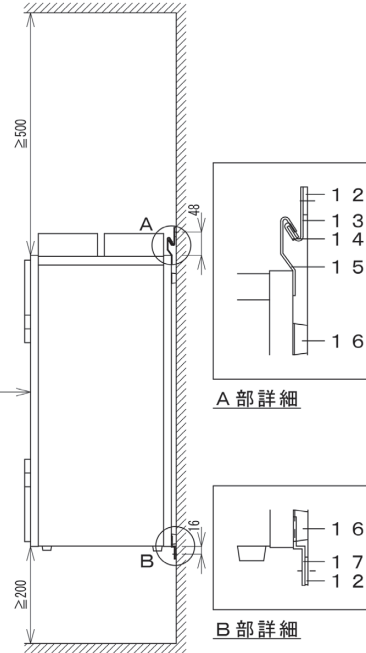
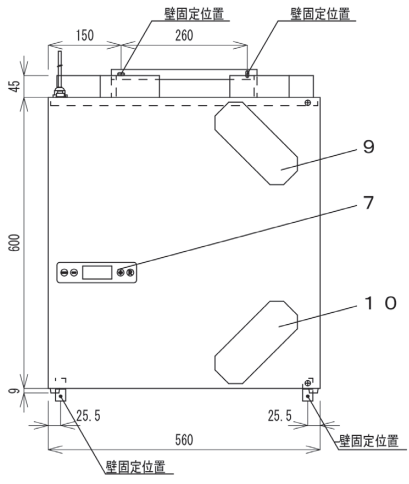
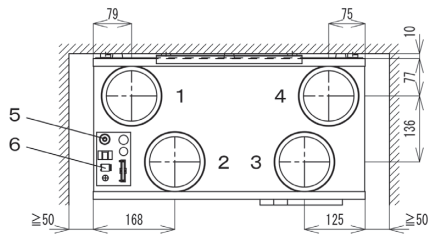
- | | |
|-----------------|-------------------------------------|
| ① 極端な曲げ。 | ⑦ O A、E Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ② 多数の曲げ。 | ⑧ 断熱範囲外に露出するS A、R Aの配管に非断熱ダクトを使用する。 |
| ③ 急激なしぼり。 | ⑨ O Aの配管先端を、屋外の排気口や排ガスが発生する場所に設置する。 |
| ④ ダクト接続部そばでの曲げ。 | ⑩ O Aの配管先端を、池や湖等の水場に面した壁面に設置する。 |
| ⑤ ダクトを弛ませる。 | ⑪ ダクト接続部に気密テープをまかない。 |
| ⑥ ダクトを固定していない。 | ⑫ ダクトを他の機器の給気に直結する。 |

⊘ ドレン水の凍結による水漏れ防止のため、屋外へドレン水の排水や、ドレン配管の露出を行なわないでください。

！ 指示

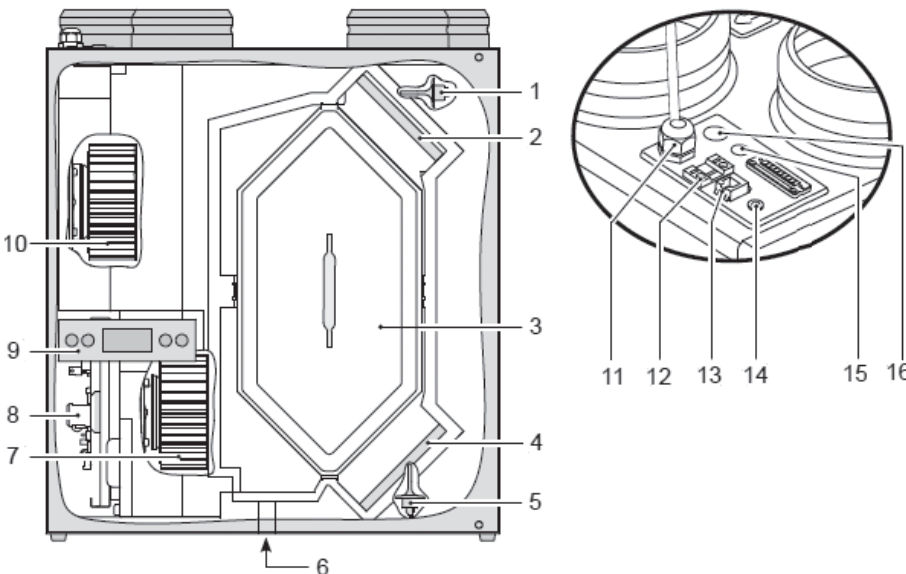
- ！ 換気計算に基づいて選定した機種を設置してください。
- ！ 機器は必ず補強された壁に固定してください。設置場所の選定にあたっては、背面固定のできる場所を選んでください。
- ！ 機器は居室（寝室）の壁などへの設置は避けてください。
- ！ ドレンの配管工事は、横引き管に10°以上の勾配を必ずつけてください。
- ！ ドレンの配管には、必ずトラップを設け、機器内部の負圧が原因となる逆流を防止してください。
- ！ 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパー、及びその点検口を必ず設けてください。
- ！ ダクト配管は、機器から下り勾配になるように取り付け、非断熱空間を通す場合やOA、EAのダクト配管は断熱処理を確実にこなしてください。
- ！ 給排気ダクトの先端には、雨水等の侵入を防ぐための屋外フード等を取り付けてください。
- ！ 地区計画等で指定がある場合や、防火区画を貫通する場所には防火ダンパーを設けてください。
- ！ 気密は経年劣化の少ないテープ、またはシール等を使用してください。
- ！ 取り付けの際は肌の露出を避け、作業用手袋、保護メガネ等を着用してください。（板金部品で怪我をする、ダクトの断熱材に使用されているグラスウール等で皮膚が刺激されることがあります。）
- ！ 設定風量は、必ず必要換気量以上の値にしてください。
- ！ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取り付け日、製造番号等の必要事項を必ず記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ！ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行ってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ！ 取扱説明書をお客様に必ず保管していただくようお願いしてください。

2. 各部のなまえと外形寸法



- 1: 屋内への給気ダクト接続口 (SA)
- 2: 屋外への排気ダクト接続口 (EA)
- 3: 屋内からの還気ダクト接続口 (RA)
- 4: 屋外からの給気ダクト接続口 (OA)
- 5: 電源ケーブル引込口
- 6: モジュラーケーブル差込口
- 7: 操作部
- 8: 還気側フィルターカバー
- 9: 給気側フィルターカバー
- 10: ドレン管接続口
- 11: 背面固定金具用ワッシャー
- 12: 壁側背面固定金具
- 13: 背面固定金具用パッキン
- 14: 機器側背面固定金具
- 15: スペース
- 16: LWZ耐震補強金具
- 17: 前面パネル

外観図



内部構成図

- 1: 室内温度センサー
- 2: 還気フィルター
- 3: 顕熱型熱交換素子
- 4: 給気フィルター
- 5: 外気温度センサー
- 6: ドレン管接続部
- 7: 還気ファン
- 8: 制御基板
- 9: 操作部
- 10: 給気ファン
- 11: 電源ケーブル引込口
- 12: オプションプラグ1
- 13: モジュラージャック差込口
- 14: オプションプラグ2
- 15: 配線引込口1
- 16: 配線引込口2

3. 部品の確認

次の部品が同梱されていることを確認してください。

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1： 機器 | 10： モジュラーケーブル (1本 1m) |
| 2： 機器側背面固定金具 (1個) | 11： LWZ耐震補強金具 (2個) |
| 3： 壁側背面固定金具 (1個) | 12： LWZ耐震補強金具用ビス (4本 5×30) |
| 4： ドレンホース
(1本 長さ1500mm、外径20mm、
内径12.8mm、ビニルチューブ) | 13： LWZ耐震補強金具用ワッシャー (4枚 M5×16×1.0) |
| 5： ドレン管《エルボ》 (1個) | 14： 耐震補強金具用ゴムワッシャー (4個) |
| 6： ドレンアダプター《ストレート》 (1個) | 15： 銘板ラベル (1枚) |
| 7： 取扱取付説明書 (本書) | 16： 長期保証シール (1枚) |
| 8： 背面固定金具用パッキン (1本) | 17： ECサイト案内ラベル (1枚) |
| 9： スペーサー (3個) | |

4. 仕様

型 名		LWZ-70E
定格電圧		200V単相 50/60Hz
寸 法	幅 (mm)	560
	高さ (mm)	600
	奥行 (mm)	290
最大風量 (m ³ /h)		180
消費電力範囲 (W)		13-96
最大電流値 (A)		0.5
騒音 (dB)	75m ³ /h時	32
	150m ³ /h時	48
質量 (kg)		25
ダクト接続口径 (mm)		φ125
ドレン管接続口径 (mm)		φ12
有効換気量 (%)		95
熱交換効率 (%)		90
周囲温度	最低温度 (°C)	15
	最高温度 (°C)	35
使用温度	外気温度 (°C)	-15~40
	室内温度 (°C)	15~35 (24°C以上 *1)
フィルター		外気側 G3 / 還気側 G3
オプション品		風量切替スイッチDJ型

* 1： 夏期の冷房時の設定室温

5. 取付け方法

5-1. 事前確認

(1) 下地工事

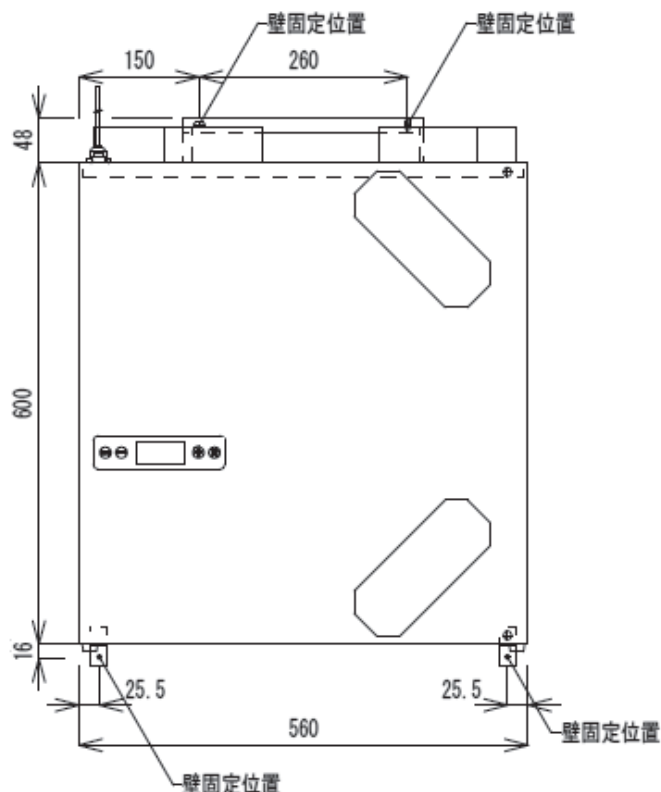
- ①機器を取付ける壁面に、機器の荷重に耐えられるように下地を入れておきます。

(2) ダクト配管

- ①ダクト配管図に従い、4種類のダクトを配管します。

おねがい

- OAダクトとEAダクトは必ず断熱ダクトを配管してください。
- OAダクトは、機器直上の壁面から引き込まないでください。
- 各接続部間や曲り部間のダクト長さを1m以上とってください。
- ダクトが弛まないように、1m毎に支持してください。



- ②機器からダクト管末に向かって、下記の下り勾配になるように、配管を固定します。

OAダクト：1 / 30 EAダクト：1 / 100

SAダクト：1 / 100 RAダクト：1 / 100 (ただし、浴室の排気の場合は1 / 30)

- ③ダクト配管の接続部は、インターテープ等の気密を確保するための部材でシールします。
- ④各ダクトの管末を、所定の位置に出して、給排気フードや給排気グリル、及び機器に接続できるようにしておきます。

(3) ドレン配管

- ①ドレン管、またはドレンアダプターを接続するドレン配管を用意しておきます。
- ②寒冷地で結露の恐れがある場合は、ドレン配管に断熱処理を施します。
- ③機器の下面から100mm以上、下になる位置にトラップを用意しておきます。

MEMO

- ドレン配管は、雑排水管等の建物内の排水系統に間接排水で接続してください。

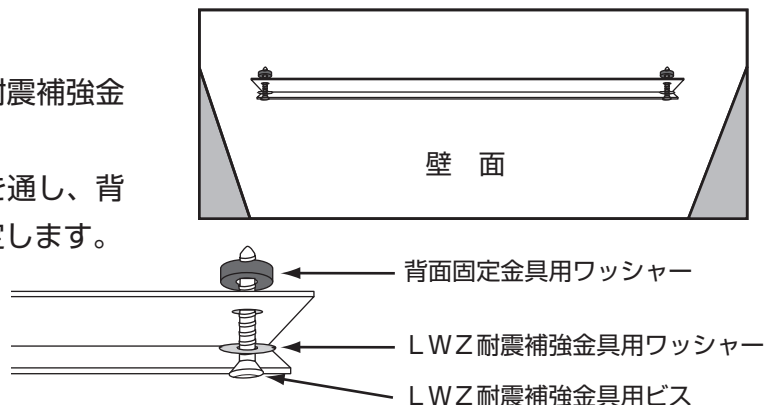
(4) 電源ケーブル等

- ①機器の電源ケーブルを屋内配線(200V)と接続できるようにジョイントボックスに3芯1.6mm以上の屋内配線(1芯はアース)を配線しておきます。
- ②機器と風量切替スイッチ間に3芯0.5mm²以上の屋内配線を配線しておきます。

5-2. 取付け手順

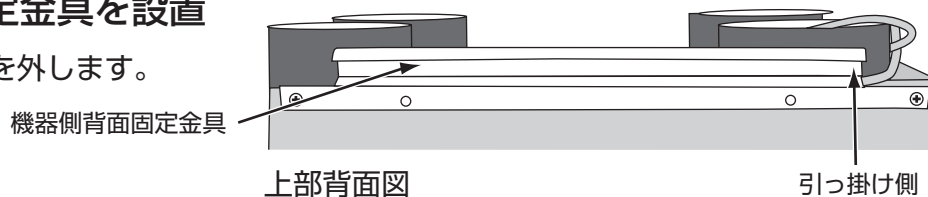
(1) 壁側背面固定金具を壁に固定

- ①付属のLWZ耐震補強金具用ビスにLWZ耐震補強金具用ワッシャーを通します。
- ②壁側背面固定金具は、壁固定穴に①のビスを通し、背面固定金具用ワッシャーを挟んで、壁に固定します。

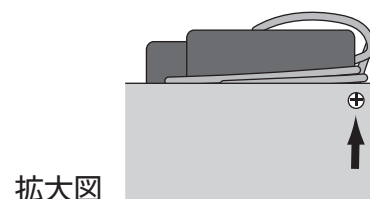


(2) 機器に機器側背面固定金具を設置

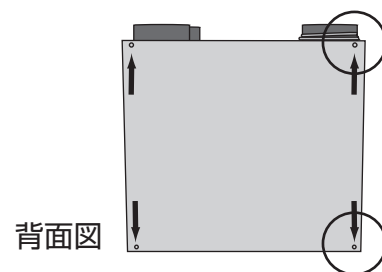
- ①機器背面上部左右のネジ2本を外します。



- ②機器背面上部のネジ穴に、機器側背面固定金具の引っ掛け側を背面に向けて、ネジ穴を合わせます。



- ③①で外したネジ2本で機器側背面固定金具を機器上部に固定します。

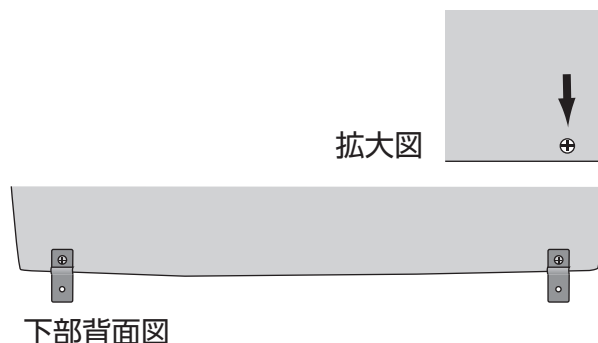


おねがい

- ネジ部の破損を防ぐため、インパクトドライバーは使用しないでください。

(3) 機器にLWZ耐震補強金具を設置

- ①機器背面下部左右のネジ2本を外します。
- ②LWZ耐震補強金具の大きい方の穴を機器背面下部のネジ穴に合わせ、①で外したネジで固定します。



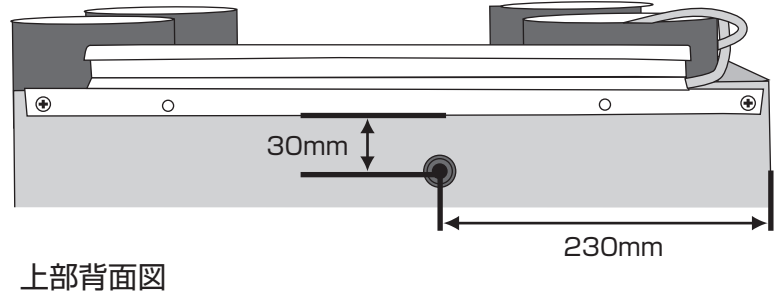
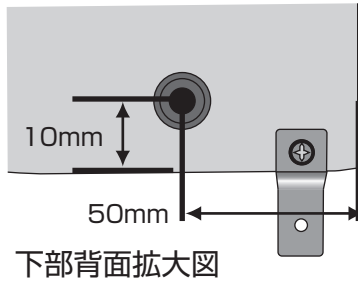
おねがい

- (2)の作業完了後(3)の作業を行なってください。



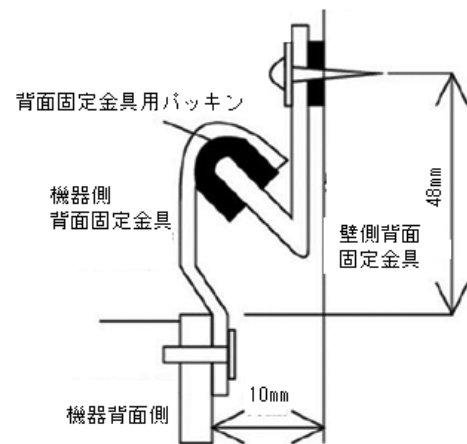
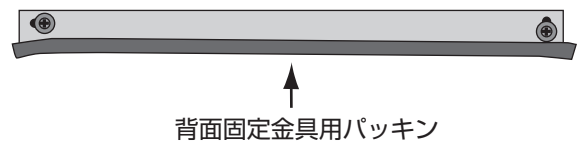
(4) スペースの設置

- ①機器背面の中心で、機器側背面固定金具の下端から30mmの位置に付属のスペースを1個貼り付けます。
- ②機器背面の左右両端から50mm、機器背面下端から10mmの位置にそれぞれ付属のスペースを1個貼り付けます。

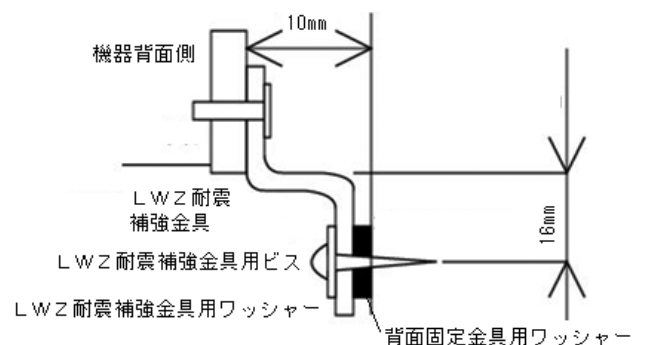


(5) 機器の固定

- ①壁側背面固定金具の先端部に同梱の背面固定金具用パッキンをはめ込みます。
- ②(2)～(5)の作業後、壁側背面固定金具に機器側背面固定金具を引っ掛けます。



- ③LWZ耐震補強金具2個の裏面にそれぞれ背面固定金具用ワッシャーを挟み、LWZ耐震補強金具用ビスとLWZ耐震補強金具用ワッシャーで固定します。



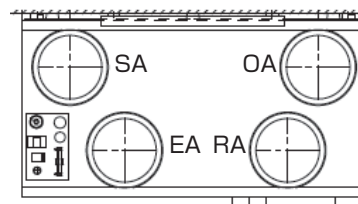
(6) ラベル等の貼付

下記の同梱されているラベルを、お客様が見やすい機器の任意の位置に貼ります。

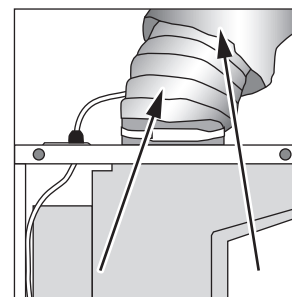
- ①銘板ラベル (天板にも同じ物が貼ってあります。)
- ②長期保証シール (天板にも同じ物が貼ってあります。)
- ③ECサイト案内ラベル

6. ダクトの接続

- ①正面から見て左奥にS Aダクトを接続します。
- ②正面から見て右奥に断熱されているO Aダクトを接続します。
- ③正面から見て左手前に断熱されているE Aダクトを接続します。
- ④正面から見て右手前にR Aダクトを接続します。

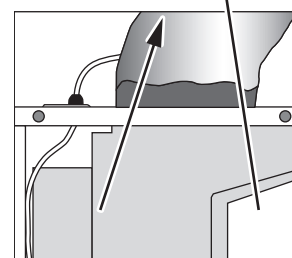


- ⑤各ダクトは、機器の各ダクト接続口にインターテープなどで気密漏れが無いように固定します。
- ⑥各ダクトは、Bバンドで機器の各ダクト接続口に締付けます。



Bバンド ダクト

- ⑦ダクトの断熱材をインターテープ等で気密漏れが無いように固定します。



インターテープ 断熱材

🔧 おねがい

- ダクトの気密処理の際に、前面パネルが開かなくなるようなテープの貼り方はしないでください。
- 必要に応じて、上下左右4本のネジで固定してある前面パネルを外してからダクトの気密処理を行なってください。

7. ドレン配管

①付属のドレン用のエルボ管、またはドレンアダプターを機器下部のドレン接続口に取り付け、付属のドレンホースをドレン配管に接続し固定します。

🔧おねがい

●ドレン用のエルボ管、ドレンアダプターはねじ込み式になっていますが、ねじ込み過ぎるとドレン接続口が破損し水漏れの原因となります。

②ドレンホースを横引きする場合は、 10° 以上の下り勾配をつけます。

③ドレンホースは、必ず逆流防止弁に接続後、間接排水してください。

🔧おねがい

●封水トラップには直接接続しないでください。

④間接排水する塩ビ管は可能な限り、機器の近くに配管してください。

⑤寒冷地では、ドレン配管が結露する場合があります。必要に応じてドレン配管に断熱材を巻きます。

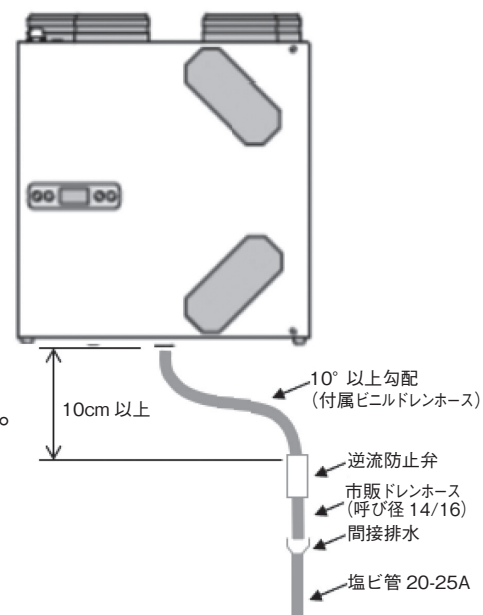
✔️ご注意

●間接排水より先には、適切にトラップを設けてください。

📝MEMO

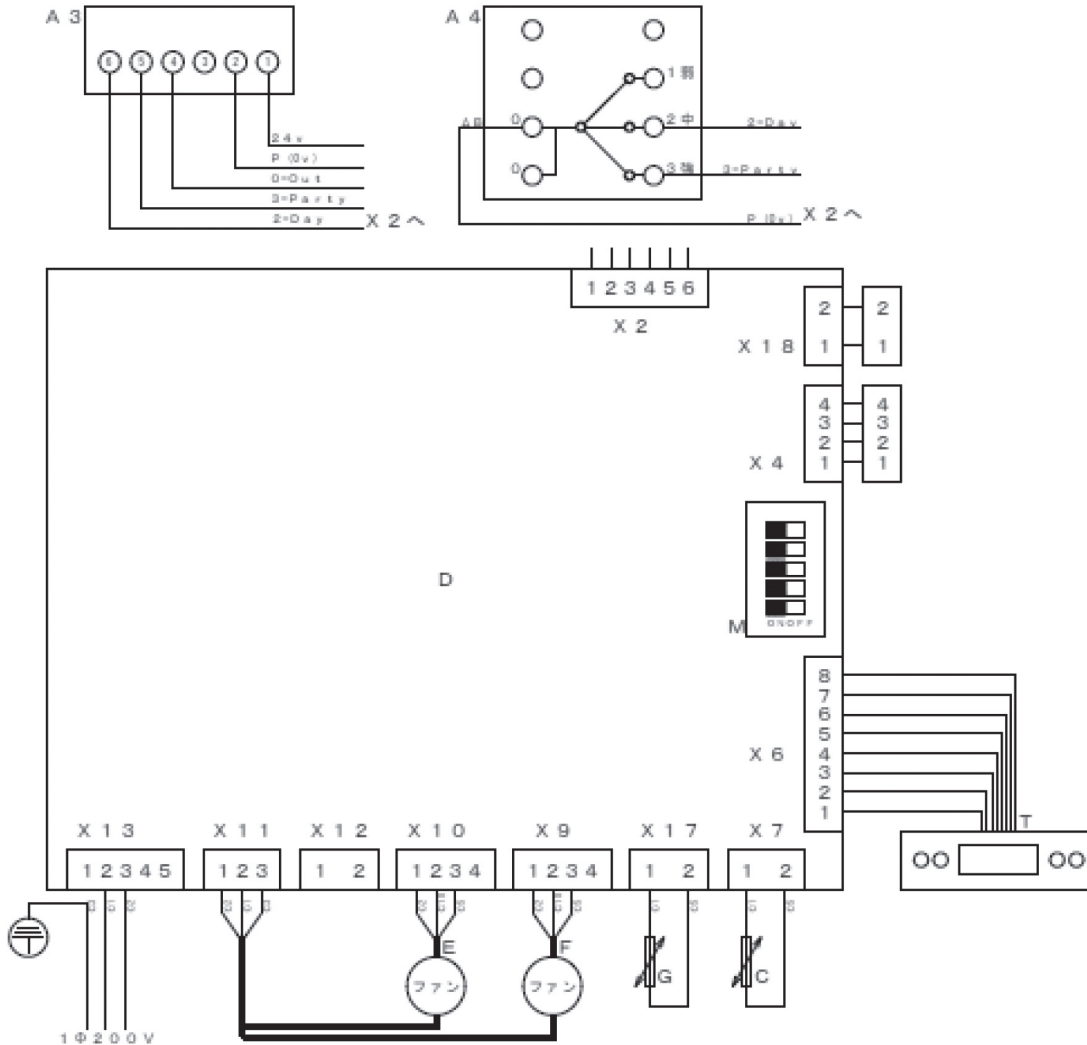
●逆流防止弁は因幡工業のDHB-1416、または同等品を必ず使用してください。

●間接排水の塩ビ管とホースの接続部は、未来工業のDPH-A、または同等品、間接排水に適した部材を必ず使用してください。



8. 結線

- ①屋内配線（1.6mm以上3芯）は、機器左上にある付属電源ケーブルと接続できるように配線します。
- ②屋内配線の壁からの引き出し口にはジョイントボックスを設置し、その中で機器の電源ケーブルと接続できるようにします。
- ③機器上部左側の電源引込口から出ている電源ケーブルを、屋内配線と圧着接続します。



- | | |
|----------------------|------------|
| A3：風量切替スイッチ（空気センサー付） | F：排気ファン |
| A4：風量切替スイッチDJ型 | G：室内温度センサー |
| C：外気温度センサー | M：セレクトスイッチ |
| D：制御基板 | T：操作部 |
| E：給気ファン | |

おねがい

- 基板上のセレクトスイッチを変更しないでください。

9. 風量切替スイッチ(オプション品)の取付け

9-1. 事前準備

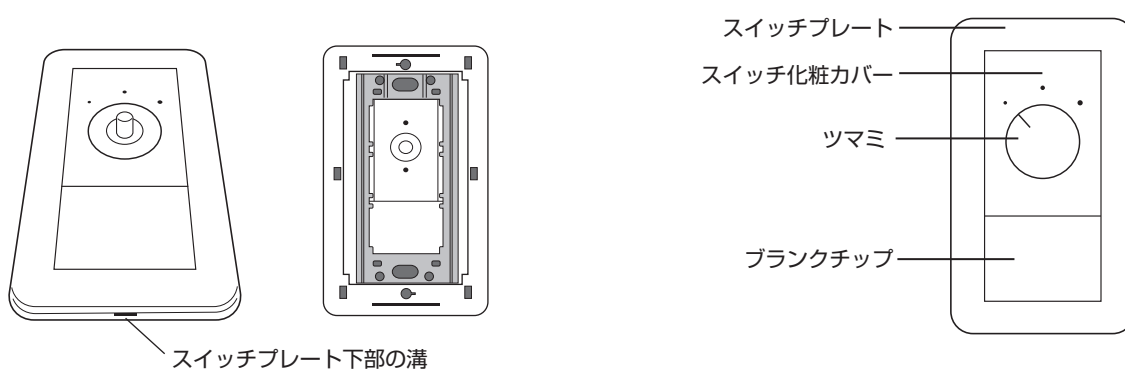
風量切替スイッチを取り付ける場合は、必ず付属のモジュラーケーブル0.5mm²が必要になります。モジュラーケーブルは、必ず3芯の1.6mm、または2.0mmの屋内配線(長さ10m以内)とコネクタ等により接続の上で風量切替スイッチに接続する必要があります。

おねがい

- モジュラーケーブルは、電源ケーブルから遠ざけて設置してください。
- モジュラーケーブルの使用しない配線は、必ず絶縁処理を行なってください。
- モジュラーケーブルは、先端の棒端子を切り落として延長するケーブルと異径配線を接続できる端子、またはコネクタで屋内配線と接続してください。

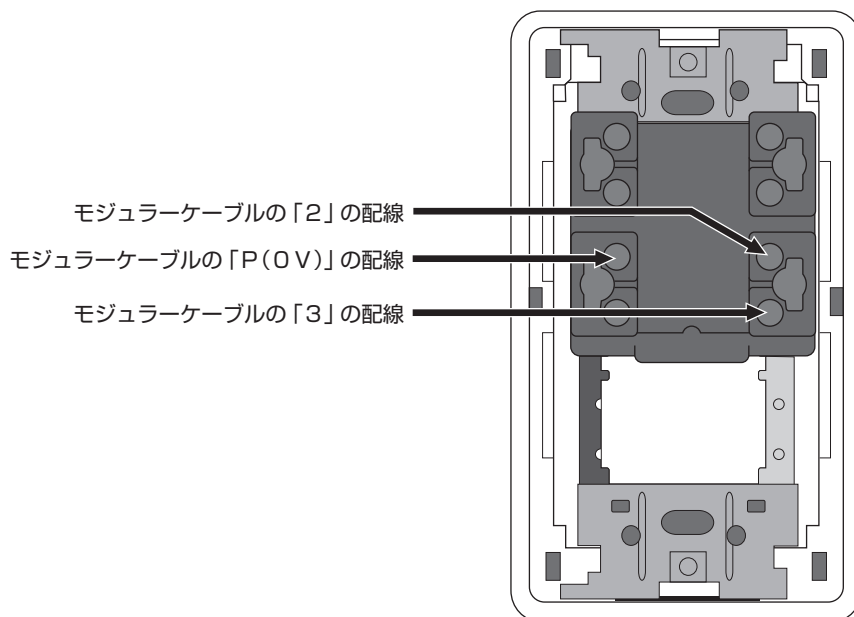
9-2. 風量切替スイッチ取付け

- ①LWZのモジュラーケーブルの「P(0V)」、「2」、「3」の3本の配線を、それぞれ付属のスイッチ用コネクタ2P(右図)を介して1.6mm、または2.0mmの屋内配線に接続し、風量切替スイッチDJ型の固定位置に出しておきます。
- ②ツマミを手前に引いて外します。
- ③スイッチプレート下部の溝にマイナスドライバーを差し込み、スイッチプレートを外します。(ブランクチップとスイッチ化粧カバーも外れますので注意してください。)



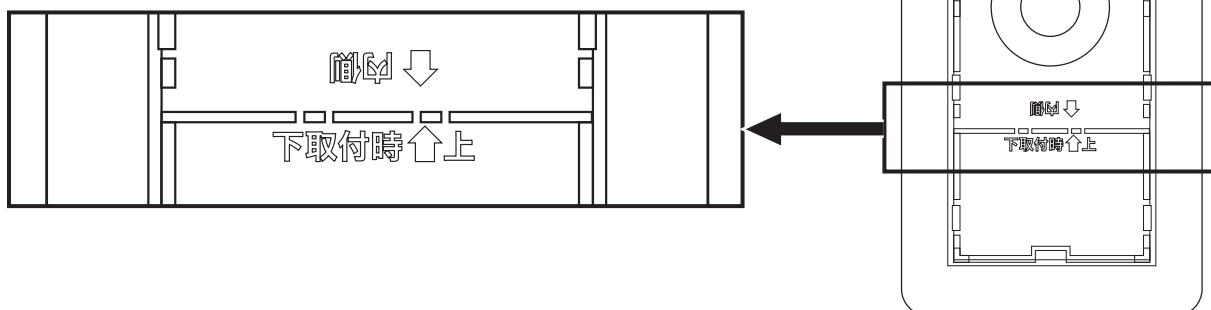
- ④ロータリースイッチの背面「0」の接続口にモジュラーケーブルの「P(0V)」の配線を接続します。
- ⑤ロータリースイッチの背面「2中」の接続口にモジュラーケーブルの「2」の配線を接続します。

- ⑥ロータリースイッチの背面「3強」の接続口にモジュラーケーブルの「3」の配線を接続します。

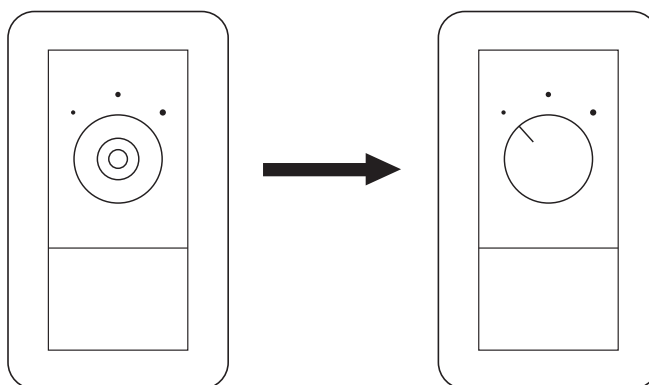


- ⑦金属ワンタッチ取付枠を、一連のジョイントボックスにネジ2本で固定します。配線がジョイントボックス内でできるだけたわまないようにします。

- ⑧blankプレートと化粧プレートを上下方向に気を付けながら、スイッチプレートとともにスイッチプレートの受け側枠に固定します。



- ⑨つまみをロータリースイッチの軸に差し込みます。



- ⑩LWZシリーズのブレーカを「入」(ON)にして、つまみの変更に合わせてLWZシリーズの表示が切り替わることを確認してからお客様に引き渡してください。

10. サービスマンモード

セットコード「SET」一覧表

セットコード	動作内容	工場設定	設定範囲	設定範囲	表示
1	設定風量	50	0 / 50	m ³ /h	
2	弱運転設定風量「1」	75	50 ~ 180	5m ³ /h	
3	通常運転設定風量「2」	100	50 ~ 180	5m ³ /h	
4	強運転運転設定風量「3」	150	50 ~ 180	5m ³ /h	
5	バイパス設定温度	24.0	15.0 ~ 35.0	0.5℃	BYPASS
6	バイパスデファレンシャル	2.0	0.0 ~ 5.0	0.5℃	BYPASS
7	バイパス設定	0	0:自動 1:強制閉 2:強制開	—	BYPASS
8	複数台制御	0	0-9	—	BUSADR
9	セントラル暖房 + 熱回収	OFF	OFF:通常設定 0 N:使用しないでください	—	CV+WTW
10	静圧調整	0 N	OFF:風量バランス調整なし 0 N:風量バランス調整あり	—	
11	手動静圧調整	0	-50 ~ 50	1m ³ /h	
12	プレヒーター	OFF	OFF:プレヒーターなし 0 N:プレヒーターあり	—	

拡張機能 (未使用) 一覧

設定番号	動作内容	工場設定	設定番号	動作内容	工場設定	設定番号	動作内容	工場設定	設定番号	動作内容	工場設定
13	拡張機能	0	21	拡張機能	1	29	拡張機能	25.0℃	40	拡張機能	400
14		21.0℃	22		0.0V	30		OFF	41		1200
15		0	23		10.0V	31		0	42		400
16		0.0V	24		0	35		OFF	43		1200
17		10.0V	25		5	36		400	44		100%
18		0	26		5	37		1200	45		1
19		5	27		OFF	38		400	46		1
20		5	28		5.0℃	39		1200			

*セット品コードは設定変更に連動して表示されない設定もあります。確認の際は、必ず設定番号を確認の上で数値を確認してください。

エラーコード「SERV」一覧表

エラーコード	エラー内容	現象
E104	還気ファン異常	還気ファンが止まります。
E105	給気ファン異常	給気ファンが止まります。
E106	外気温センサー異常	排気ファンと給気ファンが止まります。
E107	室温センサー異常	なし。
E108	該当オプションなし	
E111	該当オプションなし	
E999	ディップスイッチの異常	基板上のディップスイッチの設定が機器と一致していません。

運転状況確認「READ」内容一覧表

情報番号	表示内容	単位	情報番号	表示内容	単位
01	室内温度	℃	08	EAファン風量	m ³ /h
02	外気温度	℃	09	湿度(オプション)	%
03	バイパスの状態(ON=バイパスが開いている、OFF=バイパスが閉じている)	—	10	—	PPM
04	デフロスト運転(ON=デフロスト運転中、OFF=デフロスト運転していない)	—	11	—	PPM
05	SAダクト圧損	Pa	12	—	PPM
06	EAダクト圧損	Pa	13	—	PPM
07	SAファン風量	m ³ /h			

11. 試運転

11-1. 機器の試運転

機器設置後、必ず下記の手順に従い試運転で正常動作を確認し、初期設定を行なってください。

- ① 下記の試運転後、次ページの「引き渡し前検査記録表」に検査記録を記入してください。
- ② 機器のブレーカを「入」(ON)にします。
- ③ 下記のセットコードを変更します。(P8. 4-4. 参照)

セットコード	セットコードの内容	初期設定	変更後
02	設定風量1(弱運転)	75m ³ /h	建物に適合した任意の値
03	設定風量2(標準運転)	100m ³ /h	建物に適合した任意の値
04	設定風量3(強運転)	150m ³ /h	建物に適合した任意の値
07	バイパス動作設定	0:自動	1:常時停止

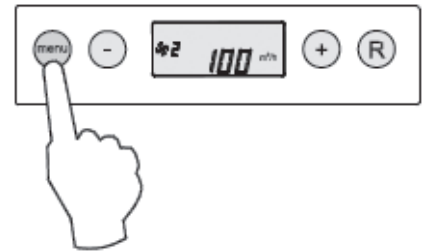
おねがい

- セットコード「07」は、必ず「1」に設定してください。(設定風量と同じ要領で変更できます。) 上記の設定をしないままだと、一定条件下で給気ファンが停止します。

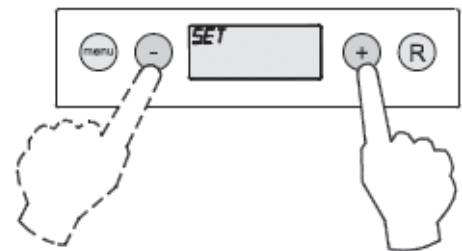
- ④ 風量切替スイッチ(オプション品)を採用している場合は、風量切替スイッチのスイッチポジションに合わせて風量が切り替わることを確認します。

- ⑤ 下記に従い、機器の運転状況を確認します。異常な値が表示しているまま引き渡さないでください。

i) 「menu」ボタンを1回押します。

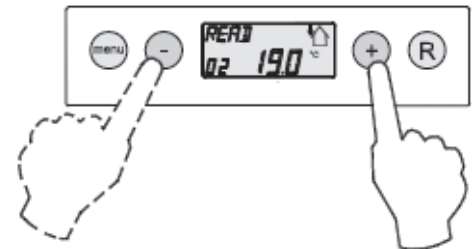


ii) 「+」、「-」ボタンを押して、表示部パネルのメッセージ欄に「READ」と表示させます。



iii) 「+」、「-」ボタンを押して、01 ~ 09の各コードの内容を確認します。

コードの内容は、P. 33 「10. サービスマンモード」参照



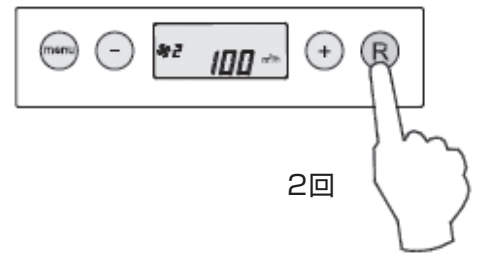
MEMO

- ②の作業が終了していないと、コード「03」が「ON」になる場合があります。
- 外気温が低い場合は、コード「04」が「ON」になる場合があります。

おねがい

- 「READ」の「05」と「06」が250Paを超えている場合は、ダクト配管を見直してください。

iv) 「R」ボタンを2回押して、基本表示に戻ります。

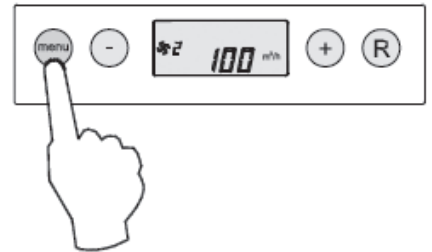


⑥各給排気グリル、給排気フードから所定の風向で、所定の風量が出ていることを確認します。

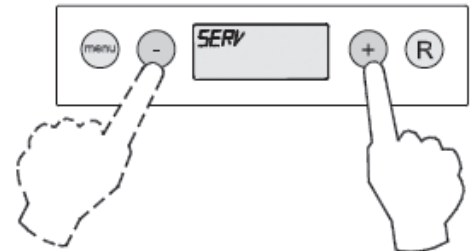
⑦ドレン水が流れることを確認します。また、封水トラップを使用している場合は、封水を貯めます。

⑧以下の方法でエラーが発生していないか確認します。

i) 「menu」ボタンを1回押します。

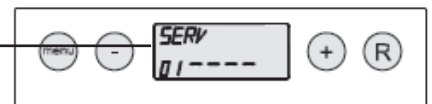


ii) 「+」、「-」ボタンを押して、表示部パネルのメッセージ欄に「SERV」と表示させます。



iii) 右図の表示部を確認して、エラーの有無を確認します。

エラー無し



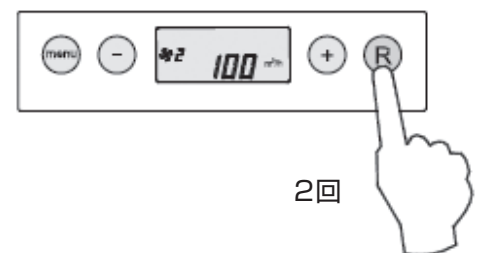
スパナマークは修理を必要とするエラーが発生している



過去にエラーが発生していた(修理済み)



iv) 「R」ボタンを2回押して、基本表示に戻ります。



⑨機器のブレーカを「切」(OFF)にします。

11-2. 引き渡し前検査記録表

検査日： 年 月 日

検査会社名							
検査担当者名							
設定 風量	設定風量						
	弱運転設定風量「1」						
	通常運転設定風量「2」						
	強運転設定風量「3」						
バイパス設定温度							
項目	コントローラ表示		表示が正常であること				<input type="checkbox"/>
	エラー履歴		修理が必要なエラーがないこと				<input type="checkbox"/>
	ドレン排水管接続状況		ドレン配管が間接排水で適切に接続されていること				<input type="checkbox"/>
	専用ブレーカ		専用ブレーカで「入/切」できること				<input type="checkbox"/>
お部屋名	給気	風量	設定 風量	お部屋名	還気	風量	設定 風量
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
	給気				還気		
外壁→屋内（給気）フード				屋内→外壁（排気）フード			
備考							

MEMO

- 実測の風量測定値は、使用する測定器具や、測定周囲の環境等の条件により、30%程度の誤差が生じることがあります。
- 試運転開始直後に風量測定をすると、ダクト内に空気が循環するまで実風量より風量が少なくなる場合があります。

保証書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象といたしません。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

お客様	フリガナ		型名	LWZ-70E	
	お名前				
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	— —	
	〒				
	住所	印			
	電話()	—	保証期間	製品	お取り付け日から1年
お取り付け日	年	月	日		

機器はお取り付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取り付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取り付け日」の記載がない場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取り付け日」として起算します。
- ご転居等、お取り付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取り付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取り付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源(電圧・周波数)で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外(例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設)等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください